

おかだ耕一

後援会会報

No.42

2009.4.15

http://www.ko1.org/ E-mail:okada@ko1.org

発行/おかだ耕一後援会事務局 〒471-0809 豊田市宝来町4-758-141 TEL/090-1752-7529(番号通知のみ受信)



厳しい財政状況だからこそ、やるべき事を

今年は、例年より長く桜を楽しめたようで、大変、心地よい季節になりました。日ごろは議員活動、後援会活動に対し、格別なるご理解、ご支援を賜りありがとうございます。

さて、3月議会は、2月20日から3月18日までの会期で開催され、平成21年度予算をはじめ、重要議案の審議がされ、上程議案の全てが可決されました。

21年度は、厳しい経済状況を反映し、私が今まで事業の見直しを提案してきたことが実現しました。今後も皆様からご指導をいただきながら、いい街づくりの一助となれるよう、精一杯活動してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

豊田市議会議員 岡田耕一

平成21年度各種事業予算《おかだ耕一議員が提案し見直されたものの一》

議会の海外視察を中止

平成20年度に引き続き、21年度も議員1人平均120万円の予算を組み、海外での先進地視察を計画していた。しかし、厳しい財政状況を踏まえ、予算計上しないことを全議員の総意で決定した。

美術品購入予算をカット

平成20年度は2億円の当初予算が計上されていた豊田市美術館収蔵用作品の購入費を21年度は全額カットした。ただし、どうしても必要な作品があれば、補正予算で対応するという道は残した。

不適切な補助金を減額

「会員」向けにサッカーチケットを購入するなど、何度もその用途の不適切さを指摘し続けてきた「豊田スタジアムを活かしたまちづくりの会」への補助金を20年度の350万円から200万円に減額した。(詳細はP3に)

とよた市民の会
無料法律相談のご案内

～派遣切り、生活相談もどうぞ～

【開催日】 5月9日(土)
6月13日(土)・7月11日(土)
【時間】 午後1時30分～3時
【場所】

豊田産業文化センター4階

お問合せ 小林おさむ 80-5323

弁護士に無料で相談できます。完全予約制といたしますのでご了承下さい。ご希望の方は前日までにご連絡ください。

**** バス旅行ご参加ありがとうございました ****



今年もおさむ会のご協賛をいただき、2月8日・9日に第2回後援会親睦バス旅行(南紀・白浜温泉)を企画しましたところ、不況と言われながらも約100名のご参加をいただき、バス3台で楽しい旅行ができました。本当にありがとうございました。

また、天候にも恵まれ、一面に白い梅の花が咲き、一足早い春を感じることができましたし、皆さんにも恐らく喜んでいただけたと思っております。来年以降も継続して計画する予定ですし、秋にはマレットゴルフ大会も予定しています。ぜひ、多くの皆様のご参加をお願いいたします。今後も、さらにおかだ議員にしっかり仕事をしてもらうよう、後援会役員とともに、頑張っておりますので、後援会活動に対し、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

おかだ耕一後援会 会長 森田 秋男



南紀白浜ホテルシーモアにて 3号車



南紀白浜ホテルシーモアにて 2号車



南紀白浜ホテルシーモアにて 1号車

1.平成21年度以降の行財政改革に対する取組

(答弁は柿島総務部長、水野総合企画部長)

現在は100年に一度の経済危機と言われ、企業、自治体も大きな変革が求められている。私は、「本市が財政的に恵まれた状況下にあっても財政はどうなるか分からない。体力がある今こそ、行財政改革を積極的に進め、無駄をなくし、市民に理解が得られる行政運営、行政経営がされるべき」との主張で、様々な提案をしてきた。厳しい状況になって、やっと私の主張が反映されたものもあるが、まだまだ、甘い部分もある。21年度の予算編成は、事業を大幅に見直すとともに、財政調整基金をはじめとする10基金282億円を取り崩し、同時に107億円もの市債の新規発行も予算化した。しかし、今のような経済状況が数年続けば基金も底をつき、市債についても市長が掲げるプライマリーバランスの黒字維持は厳しい状況になりかねない。



建替え計画が延期された東庁舎。新庁舎(保健センター)は建築費97億円を予定

財源確保のために職員給与等の見直しを

県内の自治体では、複数の自治体が、職員給与等の削減を予定している。21年度から3年間、全職員の給与を削減する常滑市を例に挙げる。基本給削減率は部長級7%、課長級5%、課長補佐級3%、主任主査級以下2%。期末手当は一律10%、退職手当の役職加算額は50%をカット。市長給与は30%カット。特別職を除く職員だけで21年度の削減総額は3億8,200万円となる。愛知県でも21年度の給料を知事10%、副知事7%、職員4%それぞれ削減する。

議会を見れば、名古屋市議会が約1割の議員報酬と政務調査費を引き下げることで合意。愛知県議会、岐阜県議会、中津川市議会、東郷町議会などでも報酬減との報道もあった。豊田市議会も議員報酬を1割カットすれば、議員分だけで年額5,000万円以上捻出できる。



おかた議員の質問後、職員給与・議員報酬カットが報道された三好町・三好町議会

質問 市長はじめ特別職、管理職・一般職の給与とともに議員報酬を削減すれば、相当な財源が確保でき、当初予算がつけられなかった事業や緊急雇用創出事業にさらに多くの予算がつけられる。特別職、管理職・一般職を常滑市と同じ水準で削減した場合、1年間の人件費削減額は。

答弁 運用上の違いがある地域手当は除いて計算すると、市長などの特別職は、年間、約1,500万円で、管理職・一般職が給料・手当合計、年間、約8億7,600万円。1年間の人件費削減額は、約8億9,100万円になる。

質問 その削減額と議員分約5,000万円をあわせれば10億円弱の財源ができる。まずは、1年間だけでもカットし、その財源で緊急雇用創出事業に上積みする考えはないか。

答弁 本市は、特別職の給料は、2年ごとに行われる学識経験者、団体代表や公募市民で構成される報酬審議会の答申を尊重し、一般職の給料は、人事院勧告を基本にして対応している。21年度の人事院勧告で、マイナスの勧告が出れば、適切に対応する。

再質問 職員労働組合との合意は必要だが、今の危機的な状況なら職員の皆さんも理解頂けるのではないかと。なぜ、給与カットをするつもりがないのか。市長の英断を求めたい。

再答弁 今後も報酬審議会の答申や人事院勧告を尊重する。(市長答弁せず)

持ち家の方の住居手当は適切か?

質問 私は過去、一部の特殊勤務手当や持ち家の方でも支給される住居手当は、一般の民間企業では、通常、考えられず、納税者としては納得できないと指摘した。その際の答弁は「18年4月から一部手当を廃止する。住居手当も、改正案を組合に提示して交渉を進める」だった。しかし、住居手当は未だ改善されず。私は持ち家の方の住居手当は全廃すべきと考える。現在、組合との協議は。

答弁 住居手当は、20年度から、自己の所有で、生計主催者に限定して支給している。職員の諸手当は、住居手当を含め市民の理解が得られるよう、引き続き、職員組合とも協議を行い、改善に向けて、努力していく。

再質問 私は本当に必要な手当まで不要と言っているのではない。常識的に考えて、不適切なものは、改めるべきと言っているのだ。なぜ、協議が進まないのか。

再答弁 先ほど申し上げたとおり。

広報とよたの契約見直しを再度求める

質問 私は過去、広報とよたの契約方法を見直し、競争入札を実施すべきとの趣旨で質問したところ、「単価の精査を含め、市内業者の施工能力等の調査を行いたい」と総合企画部長が答弁された。そして、21年度からは、ページを28ページに固定し、紙質を下げるなど、広報とよたの紙面変更を行うことになった。「単価の精査」は、どのように行い、それに基づいて、21年度予算にはどのように反映されたか。



新年度も随意契約された広報とよた

答弁 21年度は、カラーページ数の削減、紙の厚さを薄くすることや、紙の銘柄指定の廃止などの精査を行った。これにより、20年度当初予算比約35%減、約8,700万円が削減可能と見込まれる。1ページ単価で比較すると、20年度は2.092円、21年度は1.493円となった。中核市で比較すると基本ページを28ページに設定している5市の単

価比較では、20年度の契約単価で、2番目であったが、21年度予算の単価では、4番目に下がる。

質問 「市内業者の施工能力等の調査」はどのように行い、それに基づいてどう判断されたか。

答弁 現在、仕様の変更、編集方法の変更について、庁内で最終的な調整をしている。見直し後の発行方法に対応できる業者の施工能力等については21年度以降、調査を予定している。

広報発行予算額1億6,000万円を1回16万部、月に2回発行したもので割ると1部単価は41.7円となる。20年度の契約単価54.18円よりは下がったが、紙質を落とし、28ページに固定し、納品期間を延ばし、梱包作業を軽減した割には安くなっていない。161,000部発行の旭川市は、28ページで2ページカラー、その他2色刷の場合の1部あたり単価は税込みで30.29円。154,000部発行の奈良市では28ページすべて2色刷で、1部あたり単価は税込みで14.33円。このようにまだ本市の契約単価は高い。それは競争原理が働いていないからではないか。21年度には、しっかり市内業者の施工能力を調査し、早期の入札実現を期待する。

2. 外部監査結果報告を受けて～豊田スタジアムに対する厳しい指摘～（答弁は教育委員会 加藤教育次長）

平成20年度は、教育委員会スポーツ課にかかる財務に関する事務の執行について、包括外部監査を受け、補助金の問題、豊田スタジアムの施設面の問題等、多くの指摘を受けている。

やはり不適切!

「豊田スタジアムを活かしたまちづくりの会」への補助金

外部監査では以下の指摘がされている。

「まちづくりの会の活動に対して、税金を投入することは、公益性・必要性を改めて具体的に検討すべきである。まちづくりの会は、民間団体という体裁は取っているが、会員から会費を1円も徴収していない『実質的に税金で成り立っている団体』という不可思議な存在と言える。具体的には、税金で、まちづくりの会『会員』向けのクラブW杯チケットを多数枚購入することは、公益上の必要性を認められない。市民感覚としても、納得できない。スポーツ課は、10年以上にわたり続いてきた、まちづくりの会への負担金の支出内容に疑義があるのに、前例を踏襲したため、方向転換の機会を逸した。まちづくりの会が、負担金を原資に、他団体への協賛金を出している点も、公益性・必要性の観点から、大いに疑問である。総会昼食費として1回の食事で約16万円も支出することも不適切だ。まちづくりの会には、平成19年度末までに繰越金が約26万円ある。これも、実質的には負担金の剰余分という性格が濃厚と考えられる。市はまちづくりの会と清算について、協定書に基づき協議すべきである」

質問 これらはまさに私が予算・決算、一般質問で何度も指摘した内容と同じである。この指摘をどう受け止めて、21年度以降どう生かすのか。

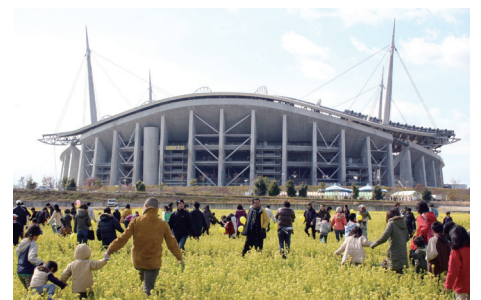
答弁 包括外部監査により指摘された、「会員向けのクラブW杯チケットの購入」は、今年度、既に見直した。その他の指摘も21年度の予算要求時に見直した。また、負担金

の清算も現協定書に条項がある。今後、明確に清算されるよう対応する。

答弁は一步前進と評価する。ただ、私が、議席を得て以来、毎年のように同様の指摘をしてきたにもかかわらず、あまり進展がなかったものが、外部監査人の指摘には迅速に対応された。議員としては、非常に残念であるということを示添えておく。

質問 21年度予算も負担金として200万円が計上されている。この金額はまちづくりの会からの要求か、具体的にどの事業にどれだけ、計上しているのか。積算根拠は。

答弁 21年度の予算は、まちづくりの会の前年決算額を基に、「まちづくりの会」と事業内容を協議し、予算計上を行っている。21年度の「まちづくりの会」の事業費の具体的な内容は、会議費・事務費として10万円。駅前フラッグ掲揚事業費(年3回)、20万円、菜の花イベント費、150万円、子どもたちを対象とした「グランパス練習見学会費」(年3回)、60万円の合計240万円を予定。なお、事業費240万円のうち40万円は、連合愛知、豊田商工会議所、青年会議所、体育協会からの負担金。



21年度も会から150万円支出する菜の花イベント

50年間で600億円かかる「豊田スタジアム」

豊田スタジアムの施設面での問題点についての外部監査結果報告書では、次のように指摘されている。

「スポーツ課からは、『豊田スタジアムは、23年度以降の改修を計画しており、具体的な修繕計画は、22年度を目処に策定される予定』との回答で、現時点で公的に修繕費の見通しを立てた資料は存在しない。しかし、スタジアムの将来の修繕費は、竣工5年を迎えたときにスタジアム建設に携わった業者から『提案』という形で『建築後50年間の修繕更新費』を見積もった書類が提出されていた。50年間の修繕費はスタジアムの建築費に相当する約354億円である。管理委託費(指定管理料)を年間約5億円とすると、50年間で250億円となり、修繕費と合算すると、50年間で約600億円の維持管理費がかかる試算となる。スタジアムの建築費が土地購入費及び公園整備費を含めて約451億円だが、50年間の維持管理費は建築費を優に超える。

完成から7年経過し、管理維持費が毎年6億円以上かかっている現状でも、スポーツ課は、5年先、10年先の維持管理費の見通しを立てておらず、スタジアムの長期的な管理コスト意識を持たずに管理している。スタジアムは、将来の市民に多大な負担を承継しかねない建築物であることを十分に自覚し、現時点での無策が将来の負担を増加させぬよう、現時点から長期的コスト意識をもった運営が必要である」

行政も常に「コスト意識」を

質問 「現時点から長期的コスト意識をもった運営が必要」との指摘をどう受け止めて、具体的に21年度以降どう生かすのか。

答弁 「豊田スタジアム」は、特殊で巨大な建築物であり、維持管理のために、長期にわたり多くの費用がかかる施設と認識している。短期、長期を問わず、常に「コスト意識」をもち、スタジアムの効率的な管理運営に努めていきたい。



6,576万円かけ修繕した開閉屋根

早期の改修計画、資金計画策定を求める

質問 私も以前から主張しているが、スタジアムの改修は21年度から計画策定すべきだ。改修計画とは、すなわち資金計画である。50年間の修繕費が専門家の試算で354億円との現実を真摯に受け止める必要がある。これだけの金額は簡単に捻出できるものではない。新たな基金も必要かもしれない。早急な改修計画策定を求める。

答弁 市全体の公共施設を対象とした「公共施設延命化計画」の中では、この「豊田スタジアム」は、23年度の実行計画対象施設と位置づけられているが、包括外部監査の指摘を踏まえ、早期に、改修計画及び資金計画の長期計画の策定に向け、関係部署と協議をしていきたい。

匿名でご意見を頂きました。▶▶▶▶▶ 自らの活動を反省し、原文の通り、掲載します。

おかだ耕一様 今、市民が、国民が、この不況に苦しんでいます。そうした中で市議は、県議は、政治家は、何をしてくれましたか。くだらない議論を交わす、国会中継を見て、もはやため息しか出ません。30年以上前に計画された設楽ダム建設。何度も見送りされてきましたが、この時期に建設は必要ですか。豊田市の人気のない街中に参合館、スカイホール、豊田ドーム、本当に必要でしたか。あなた達は市民の、県民の、国民の血税をなんだと思っているんですか。給料からの引き落としでなければ、1円も払いたくありません。犯罪社会になってしまう前に手を打たなければ、日本は下降線をたどる一方でしょう。本当の意味であなたに変革する勇氣と責任があるのなら、そのやる気を見せて頂きたいものです。期待はしていませんが。〈市民の声の代弁者より〉

政務調査費の広報・広聴費について

豊田市議会では、議員1人あたり年額38万円を限度に、研修費、調査旅費等の一部を会派に補助する政務調査費があります。21年度からは、今までは認めていなかった広報・広聴費を用途基準に認める事にしました。

そこで、おかだ耕一議員が会派を名乗る「とよた市民の会」としても、今後、政務調査費の一部を活用させていただき、後援会活動に関する記載はせずに年に1回程度発行する予定です。ご承知おきください。

おかだ耕一後援会収支報告

※平成20年1月1日～12月31日までの収支報告です
平成21年1月27日 県選挙管理委員会報告済

収入の部		支出の部	
内 訳	金 額	内 訳	金 額
19年度からの繰越額	132,847	備品・消耗品費	47,342
寄附		機関紙の郵送費	516,751
個人(39名)	274,411	機関紙の印刷費	573,456
岡田 耕一	1,500,000	事務所費	650,420
事業 会費収入	2,658,700	光熱水費	32,120
預金利子	309	その他	44,298
		イベント費	2,689,872
収入合計	4,566,267	支出合計	4,554,259
		21年度への繰越額	12,008

おかだ耕一を支えるカンパは下記へお願いいたします

三菱東京UFJ銀行 豊田支店 (普通) 1113815 おかだ耕一後援会
郵便振替 00820-9-205061 おかだ耕一後援会
(他行からの振込口座 9900 089(当座) 0205061 オカダコウイチコウエンカイ)

カンパ頂いた方は通帳にはお名前しか表示されません。お礼を申しあげたいため、ご一報下さるようお願いいたします。政治資金規正法により、おかだ耕一後援会は、企業・労働組合等の団体からの寄付は受けられません。

《連絡先》

TEL/090-1752-7529
FAX/88-9194

(こーいち)
http://www.ko1.org/
E-mail:okada@ko1.org

市政に関するさまざまな
疑問、質問、要望、情報等
お気軽にお寄せください。